令和２年度　森林環境譲与税使途状況

(1)団体コード	(2)都道府県名	(3)市町村名	(4)事業区分	(5)事業名	(6)事業総額（千円）				(7)事業内容	(8)針広混交林化、広葉樹林化に関係する事業は「○」を選択	(9)自治体間連携に関係する事業は「○」を選択	(10)実績																				(11)税導入の効果
												森林整備関係								人材育成・担い手確保対策					普及啓発（イベント等）			公共施設等の木材利用					
													間伐等実施面積			路網整備																	
					(A)+(B)+(C)	(A)うち令和２年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）	(C)うち他の財源（千円）				（ア）森林経営管理法に基づく経営管理意向調査実施面積(ha)	（イ）間伐(ha)	（ウ）除伐(ha)	（エ）その他（作業種、実績値を記載）	（オ）林道・林業専用道の開設延長(m)	（カ）森林作業道の開設延長(m)	（キ）その他（作業種、実績値を記載）	（ク）その他	（ケ）事業体等への助成		（コ）研修、講習、求人イベント等		（サ）その他	（シ）研修や普及啓発イベント等		（ス）その他	（セ）公共施設等の木材利用			（ソ）その他	（タ）その他	
																				事業体数	支援対象者数（人）	回数（回）	参加者数（人）		回数（回）	参加者・体験者数（人）		施設数	木材使用量(m3)				
																														うち国産材(m3)			
074233	福島県	柳津町	① 意向調査の準備作業	森林環境譲与税活用事業	1,595	0	1,595	0	意向調査の実施に向け、対象森林の所有者特定に関する業務を民間事業者へ委託。										施業履歴調査（11.24ha）													【ワンフレーズ】 税活用により、森林所有者22人の特定につながり、森林整備施業に向けた意向調査を実施する上での基礎資料を準備することができた。 【詳細】 我が町の私有人工林面積は2,599ha（林野率88%）と広大であることから、本税を森林整備実施に向けて活用している。 だが、この人工林はまとまったものではなく、小規模な面積の森林が点在している状況にある。 この中から令和2年度は、比較的まとまっている森林をモデル地域として設定し、そのエリアの森林所有者の特定するために、データの整理作業を行い、今年度から開始を予定している意向調査に向けた準備業務を実施した。 残額は将来の森林整備施業に使用するため、基金に積み立てた。
074233	福島県	柳津町	⑪ 基金積立（森林整備等）	柳津町森林環境基金積立	9,986	9,986	0	0	今後増大すると予想される森林経営管理法に基づく市町村自らによる森林整備（市町村森林経営管理事業）を実施するために基金として積み立てた。																							